

学校推薦型・総合型選抜の対策&アドバイス

学校推薦型・総合型選抜は、誰にでもオススメできる選抜というわけではありません。では、「向いている」のはどういう人でしょうか。受験を意識して取り組むべきことや、日々の過ごし方を考えてみましょう。

◇ 「楽しんで受かる」入試ではない

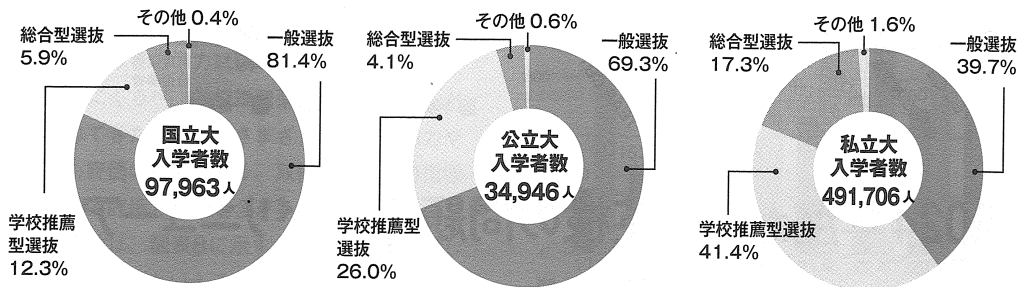
学校推薦型・総合型選抜に共通の特徴として、

- ・出願期間も合格発表日も一般選抜より早い
- ・学力試験だけではない多様な方法で選抜する

という2点が上げられます。この特徴だけを見て「楽しんで、しかも早く合格できそう!」と思った人もいるかもしれませんが、その認識は改める必要があります。

右のグラフは、2023年度入試における選抜方式別の入学者の割合を示したものです。学校推薦型・総合型選抜で入学する人の割合は、私立大でこそ全体の過半数を超えています。国公立大ではまだ少数派です。また、入試のスケジュールを見ても、学校推薦型なら11月、総合型なら9月までには選考を受ける準備が整っていないとなりません。直前になって受験を考えても、効果的な対策は取りにくく、学校推薦型・総合型選抜は、決して「楽な入試」ではありません。

選抜方式別の大学入学者の割合 (2023年入試/文部科学省資料より作成)



◇ 学校推薦型・総合型選抜はこんな人にオススメ

向いている人① 基礎学力がある人 ~付け焼き刃ではない学力の積み重ねを

学校推薦型・総合型選抜は学力試験によらず多面的な評価をする選抜方式ですが、かといって学力が不問なわけではありません。調査書の学業成績や共通テストなどによって基礎学力を評価することが基本となっています。「学力試験によらず」ではなく、「学力試験『のみ』によらず」評価を行う選抜様式と言えます。

これは、付け焼き刃の対策では太刀打ちできない選抜であることを意味します。日常の授業や定期試験を通じて着実に基礎学力を積み重ねている人にこそ道が開けている選抜方式なのです。

向いている人② 大学でしたいことが明確な人 ~”大学で何がしたいか“を掘り下げよう

学校推薦型・総合型選抜の選考では、調査書などの資料や、面接・小論文といった経験を通して、自分がどんな学びを積み重ねてきた人間であるか、大学でどんな活動をしたかなどを表現することが必要です。志望校のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を完全に理解していることは大前提。そのうえで、この大学では自分は何をしたいか、何ができるかを考えましょう。

向いている人③ 論理的に考え、表現できる人 ~「自分」を言葉で表現できるように

大学の入試担当者にとって、すべての受験生は赤の他人。そのため、学校推薦型・総合型選抜では、「赤の他人である自分を知ってもらう」ためのアピールが重要となります。「その大学に自分がなぜふさわしいか/なぜ、その大学でなければいけないか」を、論理的に、わかりやすい言葉で表現することが大切です。

また、コミュニケーションとはこちら側からの発信だけではなく、相手とのキャッチボールが成立してこそ意味があります。

◇ 大学を知り、興味を深めよう

学校推薦型選抜や総合型選抜に興味をもった人には、大学のオープンキャンパスに行ってみることをオススメします。その最大のメリットは、模擬講義などを通して、大学での学びの一端に触れながら、自分の興味・関心を深められること。また、その大学をよく知ることは、「なぜその大学でなくてはならないのか」という理由を見つけることにつながります。それは受験の際、「志望理由書」や面接で自分をアピールするときに不可欠となります。

(蛍雪時代 2024年7月号より)

夏休み期間中・2学期当初の行事予定

7 / 22 (月) ~ 25 (木) 夏期補習
 8 / 6 (火) 登校日
 20 (火) ~ 23 (金) 夏期補習
 24 (土) 全統記述模試
 29 (木) 始業式
 30 (金) 第2回一斉テスト

【8月24日(土)は全統記述模試です】

志望校の合否判定もできるので、具体的な志望校を3つ以上は書けるようにしておきましょう。



【第2回一斉テスト】

8月30日(金)は第2回一斉テストです。夏休みに勉強したこと、宿題などがどれくらい定着しているかが試されます。万全の準備をして臨み、全員が高得点を目指しましょう。なお、一斉テストや模試の成績は推薦入試校内選考の資料のひとつになっています。

出題範囲

※波線部は変更・追加点

| | テキスト | 範囲 |
|--------|-------------------------------|--|
| 国 語 | 力をつける現代文 1 (別冊学習ワーク含む) | <u>【問題番号】 7、8、9、10、11、12</u> (別冊学習ワーク 同範囲) |
| | 力をつける古典 1 (別冊学習ワーク含む) | <u>【問題番号】 6、7、8、16、17、18、19</u> (別冊学習ワーク 同範囲) |
| | 体系古典文法 | p.30~51 (基本問題、応用問題を解く) |
| | 体系古典文法 準拠ノート | p.12~21 |
| | 新明説漢文 | p.12~36 (問題演習1~3を解く) |
| | 漢トレ | p.32~65 (4級) |
| | 《校外模試改題》 | 進研模試7月 |
| 数 学 | チャート式数学I + A | 数学I 2次関数 <u>p.90~138</u> 数と式 <u>p.12~66</u> |
| | 《校外模試改題》 | 進研模試7月 |
| 英 語 | チャート式 EARTHRISE アースライズ総合英語 | p.76~163 |
| | 速読英単語 | p.84~167 |
| | Wide Angle 英語総合問題集 | Lesson 4 ~ 7 |
| | リスニング | 応用問題 |
| | 《校外模試改題》 | <u>進研模試7月</u> |